

東海北陸地区研修会助産所部会長交流会報告

平成24年9月13日（木） 16:30-18:00 富山県金太郎温泉にて

参加者：竹澤（富山）、吉田（石川）、大矢（福井）、津谷・古田（岐阜）、足立（三重）、
岩本（愛知）

代理出席の方々のおかげで6県の情報交換ができました。

議題

①助産所分娩集計IT化（別紙資料）

システム試行参加希望は260箇所あり、そのうち50箇所です。10月開始されます。来年1月から本始動ですが、全国で20%の助産所がPCを使用していない状況。県支部独自の事務所がない支部も支部の費用はかかるのか？など質問有り。具体的なQ&Aは本部の足立さんに聞いてくださるようお願いいたします。

②無介助分娩の増加と対策：本地区内でも実例が報告されました。「1回だけ助産師に受診してあとは無介助分娩し、胎盤が48時間たっても出ないので要請があった。」「未受診、無介助分娩後訪問でかかわったが口蓋裂や水頭症を合併していた。」など必ずリスク状態で開業助産師が関わることとなります。未受診、未分娩でやむを得ずかかわる場合もハイリスクケースとして扱いきましょう。また、事例がありましたら本部安全対策委員にも報告してください。

③嘱託医との関係：新契約書については特に問題化している報告はありませんでした。

10月に嘱託医あてアンケート調査があります。送付先の住所等ご協力下さい。

④機能評価は年度内に報告までできるように今から取り組んで下さい。

⑤新規開業者に対する「開業基準」完成しました。

⑥早期SST（母子接触）いわゆるカンガルーケア時の注意徹底を！

⑦母乳育児支援：完全母乳をめざすための行き過ぎのケアは問題です。

⑧助産所の後継について：全国的に後継者不足、新嘱託医確保難など開業が容易ではない状況です。新しい形として助産所の法人化、NPO、チーム助産など考えていきましょう。本部研修でもとりあげています。

⑨助産所部会主催の研修会参加者が他部会に比べて少ないです。

次回11月10日（土）11日（日）大阪会場

助産所の経営・継承、チームでおこなう助産所、「冷え」、超音波、災害対策など役立つ内容になっています。1日参加、他部会からの参加もOKです。

⑩部会長交流会は興味深い話が次々と出て、もっと話していたいぐらい！他の研修企画も新しい情報満載でたくさん勉強ができました。富山県支部の皆さん、ありがとうございました。来年度の地区研修会は愛知県が担当、名古屋市駅前のホテルキャッスルプラザで開催します。（文責：岩本美佐子（iwamoto.mw@nifty.com 090-1834-2701）